

本荘由利、高2向け就活セミナー 地元企業の強み学ぶ

本荘由利地域の高校2年生を対象とした地元就職促進のための就職活動サポートセミナーが、由利本荘市のナイスアリーナで開かれた。7校から生徒と教員約330人が参加し、地元企業について理解を深めた。

県内の製造、建設業2社の代表による職業講話が行われ、秋田精工（由利本荘市）の須田浩生社長は「生産労働人口が減少している秋田だからこそ、若いうちから大きな仕事を任せてもらえるかもしれない。皆さんのような若者の行動が地域に与える影響は大きく、充実感ややりがいを感じやすいと思う」と語った。

生徒は各企業のブースを回り担当者の説明に耳を傾けた。企業側は業務の流れや地域貢献の取り組み、仕事のやりがいなどを紹介した。

電子部品製造の由利工業（同市）の採用担当・真坂来音さん（26）は「当社の強みを伝えることを意識した。インターンシップで現場を見たと思うってもらえるよう、製品の製造工程も詳しく説明した」と話した。

由利工業高の本田慧さん（16）は「バイクに興味があり、自動車関連の会社を中心に話を聞いた。仕事にやりがいがある、長く続けていける企業を見つけた」と話した。

県由利地域振興局、由利本荘、にかほ市、ハローワーク本荘の主催。製造業や建設業、サービス業など62社が参加し1月29日に行った。（二木佳奈）



企業採用担当者に話を聞き、就職活動のヒントを探る生徒たち